



# 平和新聞 東京版

2020年10月15日 東京版第102号  
 1950年12月16日 第三種郵便物認可（日本平和委員会）  
 東京版発行 東京平和委員会  
 〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階  
 電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487  
 E-mail tokyoheiwaikai@peace-21.jp

## 東京平和委員会 定期総会を開きました

9月21日、第68回定期総会を開催しました

総会には18名が参加、内オンライン参加が5名でした。

### 運動の経過と課題

2020年は新日米安保・日米地位協定から60年であり、被爆75年でもあります。

この年に、日米安保、地位協定を問う運動や原水爆禁止運動、NY大会が企画され、「被爆者署名」や日本政府に対して「核兵器禁止条約の批准」を求めました。

しかし、アメリカの世界戦略に従う政治のもとで日米安保は侵略的なものに大きく変化し、2015年に安倍政権が強行した安保法制Ⅱ戦争法で、米軍と海外で戦争する自衛隊に向けて、大軍拡と日米軍事一体化が、9条改憲策動と一緒にすすんでいます。

そして、日本政府は「敵基地攻撃能力の保有」という、先制攻撃と区別できない国際法違反の軍拡に進もうとしています。

安倍首相は辞任しましたが、「敵基地攻撃能力」の保有や憲法改悪などの政策は、菅政権に引き継がれました。安倍政権の悪政を引き継ぐ菅政権も市民と野党の共闘で追い詰め、衆議院の解散、総選挙で自公政権を打倒し、野党連合政権の樹立を目指しましょう。

昨年、日本平和委員会が創立70周年を迎え、東京で全国大会が開催されました。東京平和委員会は、仲間づくり、新聞、平和運動誌で前進し全国大会を迎えることができました。

2018年にCVI22オスプレイ5機の横田基地への配備が強行され、横田基地では大演習が行われ、騒音は激化し、部品落下事故や環境汚染が拡大しています。いつ事故が起きてもおかしくない状況です。オスプレイ配備反対の全都的な運動を呼びかけ、毎年秋に行われている「オスプレイ配備反対東京大集会」にも取り組んできました。コロナウイルス感染が広

がり、人とのつながりが委縮する中で、各種会議が「Zoom」オンラインで開かれ、リモート学習会などコロナ禍の中で新しい活動の形で開催される変化が生まれました。原水爆禁止世界大会もオンラインで開催され、全国と世界をつなぐ世界大会となりました。

2020年の日本平和員会全国大会も9月12日にオンラインで開催され、全都道府県の平和委員会が参加しました。2020年日本平和大会もオンラインでの開催が決まっています。

この定期総会でこうした経験と運動を交流し、コロナ禍の中での新たな形での取り組み、運動方針を確立しました。

2020年度運動方針の基本的構え  
 ① 2020年は現行の日米安保条約と日米地位協定の発効60年とし

- 2020年度役員名簿（敬称略）**
- 顧問  
 鬼頭忠和（元副会長）、山崎 元（東京原水協代表理事）、荒木鐵太郎（前代表理事）
- 代表理事  
 井出由美子（新宿平和委員会）、長谷川邦夫（原水協代表理事）  
 荻野孝一（目黒平和委員会）、石村和弘（東京原水協事務局長）
- 会計監査 大塚 信
- 常任理事・理事（\*が常任理事）
- 中央区平和委員会=\*長谷川浩二、関根信夫 港平和委員会=松戸 廣  
 新宿平和委員会=\*近藤 明、阿部早苗 品川平和委員会=紀川明慶  
 豊島平和委員会=\*平田 誓、青山静可 北区平和委員会=\*八百川孝、鰐部 明  
 葛飾平和委員会=\*井上 昭、細谷正幸 江戸川平和委員会=\*大谷貴志  
 目黒平和委員会=\*黒坂 操、青木 清 墨田平和委員会=\*榎本喜久治  
 文京平和委員会=\*川田正美、小林 秀一 杉並平和委員会=\*川崎 聡、佐々木征  
 足立平和委員会=永島京子 三鷹平和委員会=大城美幸  
 くにたち平和委員会=網野一也 立川平和委員会=\*小玉博美、岩田克彦  
 昭島平和委員会=清水多恵子 町田平和委員会=奥村憲雄  
 小平平和委員会=鷺田 勇、小山靖夫 東村山平和委員会=坂根俱子  
 羽村平和委員会=\*高橋美枝子 ひの平和委員会=磯崎四郎  
 福生平和委員会=奥富喜一 あかつき平和委員会=\*近藤 聡、横山朋和  
 平労センター平和委員会=佐竹康行 きかんし平和委員会=大川真吾  
 東京直属会員=\*柴田桂馬、\*對馬 芳、\*小川 均、近森拡充、種田和敏  
 大熊 啓、鈴木龍男、嶋田有香、笹川神由
- 事務局  
 事務局長 岸本正人 事務局次長 佐藤恵美/伊藤笑子

# 日本平和大会に向けて 各地で学習会の取り組み

## ひの平和委員会

ひの平和委員会は、「平和大会パンフは安保と基地を知るには一番」と今年も100部注文して普及してきましたが、10月2日、パンフを使って菅政権がねらう「敵基地攻撃能力」保持の危険を学ぶ学習会を開催し、17人が参加しました。

学習会では、東京平和委員会の岸本事務局長がパンフをテキストに、横田基地の特殊作戦部隊の訓練の実

態、横田エリアの危険、米軍と一体になった自衛隊の侵略的強化の実態、すでに「敵基地攻撃」のための軍備が準備されていることなどについて説明しました。

質疑討論では、朝鮮戦争はなぜ終戦にできないのか、過去最高の防衛予算は何に使われているのか、敵基地攻撃を説明した河野防衛大臣（当時）の発言に怒りを覚える、などの発言があり、討論しました。

日野平和委員会からは、DVDでのミニ学習会、10月10日の「横田基地もいらない！市民交流集会」、オスプレイ配備撤回の街頭宣伝、11月22日のオスプレイ全都集会などの参加を呼びかけ、平和委員会への加入を訴えました。

この会では参加者にパンフを一部ずつ買ってもらいましたが、5冊、10冊まとめて購入してくれた方もいて、この日だけで70冊を普及することができました。また、参加者のお一人が平和委員会に入会してくれました。



## 北区平和委員会

10月1日、北区で八百川孝氏を講師に安保の学習会を開催し、20名が参加しました。今年の平和大会学習パンフレットを資料とし、日米安保の制定の歴史と性質、経済との関連などについて学習しました。

途中で日本原水協の前川さんから核兵器禁止条約の今についてや、今年の戦争展で展示する予定だった沖縄戦の記憶の写真紹介もあり、と、盛りだくさんの内容でした。第二弾は選挙の動向にもよりますが年内に開催予定です。報告 伊藤笑子事務局次長

《なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2020年日本平和大会（オンライン）》  
を成功させるため、各地で視聴会を組織しましょう

「コロナ危機のなかで考えよう いのち・暮らし第一の社会を」「ストップ！改憲・大軍拡 軍事費削ってコロナ対策へ」「ストップ！米軍基地強化・日米地位協定の抜本改定を」を基本テーマに、来る11月21日、「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2020年日本平和大会（オンライン）」を開催します。

この大会に向けて草の根からの学習と運動を広げ、各地域・職場で視聴会を設け、多数の視聴者を組織し、大会を成功させましょう。

東京実行委員会では、ラパスホールで視聴会を行います。（参加費500円）

◇ 日程 11月21日（土）  
\*全体集会 10:00～12:00  
\*特別集会 14:00～16:00

下記の2テーマに分かれて実施します。

①「敵基地攻撃に向かう自衛隊の大増強にストップを」  
②「日米地位協定問題を考える一いまこそ、占領状態からの脱却を」

◇ 詳細は <http://www.heiwataikai.info/> をご覧ください。

## 10・4横須賀集会

この日、横須賀港に、空母は停泊していませんでしたが、米イージス艦、補給艦、原子力潜水艦などが停泊し、また自衛艦も舞鶴からのイージス艦をはじめ、ヘリコプター搭載型護衛艦「ひゅうが」、潜水艦救難艦「ちよだ」などが集結し、大規模な演習が行われる直

前の様相を呈していました。集会は、会場の許可が市から下りたのが二日前という嫌がらせを受けながらも、「中止するわけには行かない」と開催し、舞台の前に原子力空母の模型を置き、1000人の参加でベルニニヨ公園で10月4日に行われました。

東京からの連帯あいさつを岸本事務局長が行い「横田基地での異常な訓練の状

況とオスプレイ反対東京集会」の訴えをしました。

集会の最後に「かえれかえれアメリカへ帰れ」と歌声をひびかせ、軍事費をコロナ対策へ回せとのコールは、横須賀に大きくこだましました。（平田 誓）

**これからの予定**

- ◇10月18日（日）横田基地座り込み行動 13時半～福生市フレンドシップパーク
- ◇10月19日（月）国会行動 国会議員会館前 18時～総がかり行動・他
- ◇11月3日（火）憲法集会 国会正門前 YouTube中継

